

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
52) 杉田 昭 山崎安信 原田博文 小金井一隆 福島恒男 嶋田 紘	Crohn病に合併した肛門病変の病態と治療. (パネルディスカッション)	第55回日本大腸肛門病学会総会	福岡	11.10-11 (2000)
53) 須田武保 島村公年 岡本春彦 酒井靖夫 嶋山勝義 小野謙二	大腸全摘後のW型回腸囊における大腸化の検討.	第100回日本外科学会総会	東京	4.13 (2000)
54) 谷 達夫 小山 論 二瓶幸栄 嶋山 悟 島村公年 岡本春彦 須田武保 酒井靖夫 山本 格 嶋山勝義	大腸全摘後残存小腸・大腸・腎臓における水チャネル遺伝子発現に関する検討.	第100回日本外科学会総会	東京	4.13 (2000)
55) Suda,T. Kuwabara,A. Okamoto,H. Sakai,Y. Hatakeyama,K.	Expression of colonic mucin in W-type ileal reservoirs after restorative proctocolectomy.	DDW 2000	San Diego	5.22(2000)
56) 酒井靖夫 島村公年 荒木智恵子 亀山仁史 下山雅朗 丸田智章 山本 智 飯合恒夫 岡本春彦 須田武保 嶋山勝義	潰瘍性大腸炎 (UC) の相対的手術適応に影響を与える因子.	第55回日本消化器病学会総会	宮崎	7.22 (2000)
57) 高久秀哉 須田武保 酒井靖夫 嶋山勝義 味岡洋一 渡邊英伸	W型回腸囊機能と臨床症状の評価.	第55回日本消化器病学会総会	宮崎	7.22 (2000)
58) 亀山仁史 酒井靖夫 島村公年 小出則彦 丸田智章 山本 智 飯合恒夫 岡本春彦 須田武保 嶋山勝義	潰瘍性大腸炎における腸管外合併症とその経過.	第55回日本消化器病学会総会	宮崎	7.22 (2000)

発表者名	演 題 名	研究学会名	会 場	日 時
59) 川原聖佳子 加納恒久 飯合恒夫 岡本春彦 須田武保 畠山勝義 味岡洋一	潰瘍性大腸炎の術後、残存直腸に発生した直腸癌にPaget病を合併した同時性重複癌の一例。	第56回日本大腸肛門病学会総会	東京	11.11 (2000)
60) 櫻井俊弘 竹下宗範 高木靖寛 他	Crohn病における在宅経静脈栄養療法の効果。	第15回在宅経静脈栄養研究会	東京	9.9 (2000)
61) 平井郁仁 竹下宗範 櫻井俊弘 他	Crohn病の肛門病変についての臨床的検討—特にIOIBD assessment score算定の取り扱いについて。(パネルディスカッション)	第55回日本大腸肛門病学会総会	福岡	11.10-11 (2000)
62) 山口明子 櫻井俊弘 真武弘明 他	当院におけるCrohn病の腹腔内膿瘍合併症の臨床像。	第55回日本大腸肛門病学会総会	福岡	11.10-11 (2000)
63) 永江 隆 平井郁仁 櫻井俊弘 他	非ステロイド性抗炎症剤 (NSAID) 起因性腸炎の検討。	第55回日本大腸肛門病学会総会	福岡	11.10-11 (2000)
64) 磯本 一 竹島史直 牧山和也 浜崎洋一郎 清水和宏 片山一朗 渡辺めぐみ 田口久雄 河合紀生子 西本勝太 楠本征夫	IBDにおける皮膚病変の治療と経過。	第55回日本大腸肛門病学会	福岡	11.10-11 (2000)
65) 内間庸文 岸本一人 大見謝秀臣 平田哲生 座覇 修 金城 渚 佐久川 廣 金城福則 齋藤 厚	ステロイド仕様による重症糞線虫症の検討。	第11回日本臨床寄生虫学会	東京	6.17 (2000)
66) 大城則子 川満真由美 新垣智加 比嘉妙子 城間正美 又吉育子 長浜喜美子 豊見山良作 川上祐子 幸地昭彦 新垣 哲 平田哲生 金城 渚 金城福則 齋藤 厚	当院における大腸内視鏡検査成績の検討。	第42回全日本病院学会	福岡	10.13 (2000)

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
67) 仲本 学 仲地紀哉 宮里史郎 州鎌理知子 砂川 隆 久貝雪野 外間 昭 金城 渚 金城福則 齋藤 厚	サラゾピリン服用炎症性腸疾患患者における H.pylori感染率の検討.	第42回全日本病院学会	福岡	10.13 (2000)
68) 州鎌理知子 仲地紀哉 知念隆之 前田企能 福地 淳 砂川 隆 豊見山良作 仲本 学 内間庸文 平田哲生 久貝雪野 外間 昭 金城 渚 金城福則 齋藤 厚	ベクロメタゾン注腸療法が有効であった潰瘍性 大腸炎の8例.	第55回日本大腸肛門病学会	福岡	11.10-11 (2000)
69) 豊見山良作 新垣 哲 幸地昭彦 川上祐子 平田哲生 金城 渚 金城福則 齋藤 厚	痔瘻を契機に診断したCrohn病症例の検討.	第55回日本大腸肛門病学会	福岡	11.10-11 (2000)
70) 山村武平	潰瘍性大腸炎に対する外科治療. (セッション)	第7回外科フォーラム	仙台	7. 1. (2000)
71) 荘司康嗣 楠 正人 柳 秀憲 野田雅史 池内浩基 山村武平	医療コスト削減・入院期間短縮に成功した潰瘍性 大腸炎に対する外科的治療戦略. (ワークショップ)	第55回日本消化器外科学会総会	宮崎	7. 20-22 (2000)
72) 荘司康嗣 柳 秀憲 野田雅史 池内浩基 山村武平 楠 正人	潰瘍性大腸炎 (UC) の外科的治療. (シンポジウム)	第10回日本AS研究会学術集会	西宮	10. 28 (2000)
73) 大澤俊嗣 池内浩基 野田雅史 柳 秀憲 荘司康嗣 楠 正人 山村武平	クローン病に合併した胃癌の1例.	第25回日本外科系連合学会学術集会	東京	6.24-25 (2000)

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
74) 池内浩基 楠 正人 野田雅史 柳 秀憲 荘司康嗣 山村武平	クローン病における緊急手術症例の検討.	第25回日本外科系連合学会学術集会	東京	6.24-25 (2000)
75) 林 篤 北洞哲治	潰瘍性大腸炎の病態における活性酸素とアポトーシス.	第86回日本消化器病学会総会	新潟	4.20-22 (2000)
76) 小野ひろみ 北洞哲治 林 篤 田代博一 大原 信 鈴木紘一 日比紀文 石井裕正	クローン病における単球遊走能の検討—TNF- $\alpha$ より.	第86回日本消化器病学会総会	新潟	4.20-22 (2000)
77) 守田則一	炎症性腸疾患に対する顆粒球・単球除去療法.	第55回日本大腸肛門病学会	福岡	11.10-11 (2000)
78) 守田則一 田島聖子 戸田信晴 高野正博 守田貴子	クローン病患者の骨密度低下要因に関する研究.	第2回日本骨粗鬆症学会	秋田	10.25-28 (2000)
79) 太田紀子 守田則一 石川行美 伊藤真紀 鈴木敬子 黒水丈次	潰瘍性大腸炎患者のBMIに関連する食事要因の解析.	第22回日本臨床栄養学会総会	高知	11.9-10 (2000)
80) 豊田裕輝子 守田則一 戸田信晴 大川倫子 田島聖子 宮崎路子 野崎良一 高野正博	炎症性腸疾患患者7日間摂取食事調査にみる繊維摂取について.	第22回日本臨床栄養学会総会	高知	11.9-10 (2000)
81) 守田則一 戸田信晴	炎症性腸疾患の身体計測からみた栄養評価の臨床的意義。(パネルディスカッション)	第23回日本栄養アセスメント研究会	千葉	5.20 (2000)
82) 太田紀子 守田則一 石川行美 伊藤真紀 鈴木敬子 黒水丈次	炎症性腸疾患外来患者の身体計測から見た栄養評価と摂取食事の関連について.	第23回日本栄養アセスメント研究会	千葉	5.20 (2000)
83) 豊田裕輝子 守田則一 戸田信晴 大川倫子 田島聖子 宮崎路子 野崎良一 高野正博	炎症性腸疾患患者7日間摂取食事調査にみる繊維摂取について.	第23回日本栄養アセスメント研究会	千葉	5.20 (2000)

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
84) 大谷明夫 八田卓久 有廣誠二 名倉 宏	炎症性腸疾患からみたMAdCAM-1の発現、リンパ球のホーミングレセプターからみたクローン病と潰瘍性大腸炎の差.	第89回病理学会	大阪	4.11-13 (2000)
85) 有廣誠二 大谷明夫 樋渡信夫 名倉 宏	炎症性腸疾患におけるmatrix metallo proteinasesの発現と小静脈中膜平滑筋/周細胞の役割.	第89回病理学会	大阪	4.11-13 (2000)
86) 有廣誠二 大谷明夫 八田卓久 樋渡信夫 鳥居 明 戸田剛太郎 名倉 宏	炎症性腸疾患におけるMAdCAM-1の発現.	第37回日本消化器免疫学会	東京	8.3-4 (2000)
87) 澤 禎徳 神野良男 原 順一 中村志郎 押谷伸英 松本蒼之 荒川哲男 金城福則 齋藤 厚 大谷明夫 名倉 宏	炎症性腸疾患の病変形成におけるTh1/Th2バランスおよびサイトカイン産生細胞の局在の意義について.	第37回日本消化器免疫学会	東京	8.3-4 (2000)
88) 杉森志穂 山内昌哉 藤井久男 小山文一 寺内誠司 向川智英 榎本泰三 中尾 武 高木 都 中野博重	Hybrid Logistic Functionによる消化管運動数式化の試み.	第100回日本外科学会総会	東京	4.12-14 (2000)
89) 小山文一 藤井久男 畑 倫明 杉森志穂 榎本泰三 向川智英 小林豊樹 山内昌哉 中尾 武 松本 寛 土井新也 中川 正 西沼 亮 武内 拓 中野博重	腹腔鏡(補助)下腸切除術におけるPitfallとその対策.	第13回日本内視鏡外科学会総会	大阪	12.14-15 (2000)

発表者名	演題名	研究学会名	会場	日時
90) Okamura,N.	Mucosa-associated microbial flora of the large intestinal of the patients with ulcerative colitis and the controls.	The 3 <sup>rd</sup> symposium on Hericobactor meets Inflammatory Bowel Disease	群馬	8.26 (2000)
91) 田村和朗 指尾宏子 下山 孝	炎症性腸疾患と遺伝的背景. (シンポジウム)	DDW-Japan2000	神戸	10.25-28 (2000)
92) 田村和朗 指尾宏子 古山順一 下山 孝	炎症性腸疾患の疾患感受性遺伝子—潰瘍性大腸炎,クローン病の候補遺伝子多型とのassociation study—. (ワークショップ)	第21回日本炎症学会	東京	7.4-5 (2000)
93) 指尾宏子 田村和朗 古山順一	炎症性腸疾患における疾患感受性遺伝子の多型解析.	日本人類遺伝学会第45回大会	福岡	10.25-27 (2000)
94) 指尾宏子 山本義弘 古山順一 田村和朗 澤田康史 山村 誠 福田能啓 田村和民 谷田憲俊 里見匡迪 下山 孝	炎症性腸疾患におけるTNF $\alpha$ 関連遺伝子の多型解析.	第8回神戸遺伝子医療研究会	神戸	7.14 (2000)
95) 木下真子 鈴木康夫 齋藤 康	Butyrateのin vitroにおける大腸粘膜上皮細胞分化における影響の検討.	第86回日本消化器病学会総会	新潟	4.20-22 (2000)
96) 中尾圭太郎 鈴木康夫 齋藤 康	PIXE法による腸管粘膜透過性の測定.	第86回日本消化器病学会総会	新潟	4.20-22 (2000)
97) 和泉秀彰 鈴木康夫 齋藤 康	潰瘍性大腸炎におけるNKT細胞の検討.	第86回日本消化器病学会総会	新潟	4.20-22 (2000)
98) 星本相浩 鈴木康夫 齋藤 康	鎖長の相違による各種脂肪酸付加時における腸管上皮細胞のIL-8産生の検討—中鎖脂肪酸を中心に—	第86回日本消化器病学会総会	新潟	4.20-22 (2000)
99) 森田秀和 鈴木康夫 齋藤 康	腸管上皮細胞間結合の解明—特にcell to cell communicationについて.	第8回日本消化器関連学会週間		
100) 鈴木康夫	Therapeutic efficacy of granulocyte and monocyte apheresis for ulcerative colitis.	The 3 <sup>rd</sup> symposium on Hericobactor meets Inflammatory Bowel Disease	群馬	8.26 (2000)

# 研究事業報告

厚生科学研究特定疾患対策研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班」  
「炎症性腸疾患に対する白血球除去・  
吸着療法に関する多施設共同研究」

平成12年度第1回総会プログラム

(敬称略)

平成12年8月24日(木)

開会(09:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 下山 孝

II. 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課課長挨拶 麦谷真里

III. 研究報告

1. プロジェクト研究(09:30～09:40)

「UCとCDのデータベースを拡張・充実する」

責任者：名川弘一

(1) IBD個人調査票入力の上進状況

○名川弘一(東京大腫瘍外科), 里見匡迪, 下山 孝(兵庫医大4内)

2. プロジェクト研究(09:40～09:50)

「CD患者の適切な食事を検討し, 情報を患者に伝達する」

責任者：高添正和

(1) 炎症性腸疾患患者への情報提供のネットワーク構築について

－Crohn's & Colitis Foundation of Americaとの連携－

○高添正和(社保中央総合病院内科), 福島恒男(横浜市立市民病院外科),  
屋代庫人(JR東京病院成人科), 武藤徹一郎(癌研究会附属病院外科),  
福田能啓, 下山 孝(兵庫医大4内)

3. プロジェクト研究(09:50～10:10)

「CD患者の食事の実態を調査する」

責任者：古野純典

(1) IBDの患者対照研究－新規－

○古野純典(九州大大学院医学系社会医学講座予防医学)

(2) 潰瘍性大腸炎の疫学的研究－追跡調査等について－

○北洞哲治(国立大蔵病院消化器科, 同臨床研究部), 宇都宮利善, 横山巽子, 今場清子,  
小野ひろみ(同臨床研究部) 林 篤, 大原 信, 田代博一(同消化器科),

4. プロジェクト研究(10:10～10:40)

「UCとCDの遺伝子異常をより広い範囲で検討する」

責任者：田村和朗



- (1) 炎症性腸疾患の疾患感受性遺伝子の多型解析
  - 指尾宏子, 古山順一 (兵庫医大遺伝), 田村和朗 (同 先端医学研究所家族性腫瘍部門)
- (2) HLA領域における潰瘍性大腸炎疾患感受性遺伝子の探求
  - 杉村一仁, 松澤 純, 杉谷鈴子, 本間 照, 朝倉 均 (新潟大3内), 太田正穂 (信州大法医), 猪子英俊 (東海大分子生命)
- (3) 炎症性腸疾患におけるIL-4受容体遺伝子の多型
  - 樋渡信夫, ○ 根来健一, 木内喜孝, 高橋成一 (東北大消化器内科)

#### コーヒープレイク (10:40～11:00)

#### 5. プロジェクト研究 (11:00～11:20)

「腸内細菌の病因論的検討を行う」

責任者：下山 孝

- (1) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜細菌叢
  - 岡村 登, 千田俊雄, 馬場千恵美, 小林久美子 (東京医歯大医保健衛生), 岡村 孝 (都立大塚病院外科), 松村徹也, 下山 孝 (兵庫医大4内)
- (2) リンパ濾胞の微生物学—細菌の検討—
  - 千葉満郎, 飯塚政弘, 渡辺純夫 (秋田大1内), 河野 緑, 保科定頼 (慈恵医大臨床検査)

#### 6. プロジェクト研究 (11:20～12:00)

「白血球除去療法の重点研究を完遂する」

特定疾患対策研究事業「炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究」と合同

責任者：下山 孝

- (1) 炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究
 

下山 孝, ○ 澤田康史, 里見匡迪, 福田能啓, (兵庫医大4内), 朝倉 均 (新潟大3内), 飯塚文瑛 (東京女子医大消化器内科), 金城福則 (琉球大1内), 櫻井俊弘 (福岡大筑紫病院消化器科), 高添正和 (社保中央総合病院内科), 戸澤辰雄 (兵庫医大中央臨床検査部), 名川弘一 (東京大腫瘍外科), 西上隆之 (兵庫医大2病理), 馬場忠雄 (滋賀医大2内), 日比紀文 (慶應大内科), 樋渡信夫 (東北大消化器内科), 福島恒男 (横浜市立市民病院外科), 藤原研司, 太田慎一 (埼玉医大3内), 牧山和也 (長崎大光学医療診療部), 松本營之 (大阪市大3内), 棟方昭博 (弘前大1内), 北洞哲治 (国立大蔵病院臨床研究部), 鈴木康夫 (千葉大2内), 楠神和男 (名古屋大1内), 高後 裕 (旭川大3内)

#### 幹事会・昼食 (12:00～13:00)

#### 7. プロジェクト研究 (13:00～13:10)

「UC患者の癌と dysplasia を基準に癌 surveillance を確立する」

責任者：名倉 宏

- (1) 潰瘍性大腸炎に発生する dysplasia 及び大腸癌の微細表面性状
  - 味岡洋一, 渡邊英伸, 加納恒久 (新潟大1病理)

#### 8. プロジェクト研究 (13:10～14:30)

「UC難治例の大腸切除の適応を定める」

責任者：名川弘一

- (1) ステロイド量からみた難治性UCの手術適応

- 板橋道朗, 亀岡信悟 (東京女子医大2外), 飯塚文瑛 (同 消化器内科)
- (2) UC手術例からみたステロイド使用時の手術適応について
  - 須田武保, 畠山勝義, 飯合恒夫, 岡本春彦 (新潟大1外)
- (3) 潰瘍性大腸炎における術前ステロイド投与量と, 外科治療における問題
  - 星 加奈子, 大田貢由, 小金井一隆, 福島恒男 (横浜市立市民病院外科), 篠崎 大 (東京大腫瘍外科)
- (4) 炎症性腸疾患手術例における無菌性骨壊死症例の検討
  - 北山 卓, 内藤広郎, 舟山裕士, 福島浩平, 柴田 近, 児山 香, 橋本明彦, 西條文人, 松野正紀, 佐々木 巖 (東北大1外)
- (5) 潰瘍性大腸炎術後のpouch failure症例の検討
  - 山村武平, ○荘司康嗣, 柳 秀憲, 野田雅史, 池内浩基, 楠 正人 (兵庫医大2外)
- (6) 回腸嚢に発生した潰瘍性病変の検討
  - 中野博重, ○藤井久男, 畑 倫明, 小山文一, 杉森志穂 (奈良県立医大1外)
- (7) IBD患者にとってストーマとは何か? –大腸癌患者のQOLとの比較検討–
  - 吉岡和彦, 中野雅貴, 米倉康博, 岩本滋能, 今田世紀, 毛利 隆, 吉田 良, 高田秀穂, 日置紘士郎 (関西医大2外)
- (8) Crohn病に対する腹腔鏡手術と開腹手術との比較検討
  - 舟山裕士, 内藤広郎, 福島浩平, 渋谷和彦, 柴田 近, 児山 香, 橋本明彦, 北山 卓, 西條文人, 松野正紀, 佐々木 巖 (東北大1外)

#### 9. プロジェクト研究 (14:30～15:10)

「潰瘍性大腸炎の新診断基準, 重症認定基準をつくる」

責任者: 棟方昭博

- (1) 潰瘍性大腸炎の治療指針の一部改訂についての検討
  - 棟方昭博 (弘前大1内)
- (2) 潰瘍性大腸炎に対する5-ASA (ペンタサ<sup>®</sup>) 注腸の効果
  - 長沼 誠, 小池祐司, 一松 収, 船越信介, 福井一人, 中野 雅, 矢島知治, 井上 詠, 岩男 泰, 日比紀文 (慶應大内科)
- (3) 潰瘍性大腸炎患者におけるプロピオン酸ベクロメタゾンの使用経験
  - 金城福則, ○州鎌理知子, 久貝雪野, 平田哲生, 豊見山良作, 砂川 隆, 齋藤 厚, (琉球大1内)
- (4) 炎症性腸疾患におけるMRIの有用性について
  - 馬場忠雄, ○五月女隆男, 辻川知之, 新谷 寛, 安藤 朗, 佐々木雅也, 小山茂樹, 藤山佳秀 (滋賀医大2内), 古川 颯 (同 放射線科)

#### コーヒーブレイク (15:10～15:30)

#### 10. プロジェクト研究 (15:30～16:10)

「クローン病の新診断基準, 重症認定基準をつくる」

責任者: 樋渡信夫

- (1) クローン病診断基準, 治療指針の問題点–アンケート調査–
  - 樋渡信夫 (東北大消化器内科)
- (2) クローン病患者における妊娠・出産
  - 樋渡信夫, 織内竜生 (東北大消化器内科)
- (3) クローン病の緩解維持における間欠的ED療法の意義
  - 中村志郎, 松本誉之, 神野良男, 澤 禎徳, 押谷伸英 (大阪市大3内)
- (4) クローン病の難治性肛門部病変に対する5-ASAの臨床効果

- 福田能啓, 奥井雅憲, 小坂 正, 馬場裕子, 堀 和敏, 山村 誠, 田村和民, 里見匡迪, 下山 孝 (兵庫医大4内)

#### 11. プロジェクト研究 (16:10～16:40)

「新治療法を開発する」

責任者：下山 孝

- (1) デキストラン硫酸誘発大腸炎に対する肝細胞増殖因子の治療効果に関する検討  
坪内博仁, ○田原良博, 井戸章雄, 宮田義史, 山本章二郎 (宮崎医大2内)
- (2) ヒト大腸線維芽細胞における肝細胞増殖因子 (HGF) の産生制御  
○太田慎一, 藤森健二, 藤原研司 (埼玉医大3内), 伴場裕巳 (同 総合医療センター1内)
- (3) n-酪酸によるPPAR- $\gamma$ を介した大腸粘膜上皮に対する抗炎症効果発現の検討  
○鈴木康夫, 木下真子, 齋藤 康 (千葉大2内)

#### 事務局連絡 (16:40～16:50)

#### 懇 親 会 (17:00～)

平成12年8月25日 (金)

### III. 研究発表 (続)

#### 12. プロジェクト研究 (09:00～10:20)

「UCとCDにおける免疫異常を検索する」

責任者：日比紀文

- (1) 潰瘍性大腸炎におけるマクロファージ遊走阻止因子 (MIF) の発現に関する検討  
○櫻庭裕丈, 石黒 陽, 山形和史, 棟方昭博 (弘前大1内)
- (2) 潰瘍性大腸炎の大腸上皮ではCD161<sup>+</sup>T (NKT) 細胞は減少する  
○飯合恒夫, 須田武保, 岡本春彦, 畠山勝義 (新潟大1外), 安保 徹 (同 医動物)
- (3) IBDにおけるNKT細胞の役割  
○八木田旭邦, 丸山正二, 若杉慎司, 助川 寧 (近畿大腫瘍免疫等研究所)  
高添正和 (社保中央総合病院内科)
- (4) 炎症部大腸粘膜上皮におけるReg1 $\alpha$ の発現増強について  
○中村哲夫, 飯塚文瑛, 林 直諒 (東京女子医大消化器内科), 板橋道朗, 亀山信悟 (同2外)
- (5) 炎症性腸疾患におけるMAdCAM-1の発現—第2報— 潰瘍性大腸炎とクローン病における差  
有廣誠二, ○大谷明夫, 鈴木 学, 名倉 宏 (東北大病理), 樋渡信夫 (同消化器内科)
- (6) 特発性炎症性腸疾患の腸管における白血球接着因子4C8の局在について  
○押谷伸英, 澤 禎徳, 神野良男, 中村志郎, 松本誉之 (大阪市大3内), 西口幸雄, 平川弘聖, (同1外),  
羽藤文彦 (同2生理), 益山純一 (自治医大アレルギー膠原病)
- (7) クローン病におけるIL-18の関与—マウス実験動物モデルにおける検討—  
○佐藤俊郎, 岡沢 啓, 金井隆典, 新井 潤, 松岡克喜, 高木英恵, 江崎俊彦, 緒方晴彦, 渡辺 守,  
日比紀文 (慶應大内科)
- (8) HLAB27トランスジェニックラットの大腸炎  
○馬場忠雄, 畑 和憲, 辻川知之, 五月女隆男, 新谷 寛, 安藤 朗, 佐々木雅也,  
藤山佳秀 (滋賀医大2内), 金内 理 (キリンビール(株)酵母事業開発部)

コーヒーブレイク (10:20～10:40)

13. プロジェクト研究 (10:40～11:00)

「UCとCD患者QOLを治療法による影響も含めて検討する」

責任者：櫻井俊弘

(1) Crohn病患者のQuality of life

－炎症性腸疾患特異尺度の反応性に関する検討－

- 櫻井俊弘, 八尾恒良 (福岡大筑紫病院消化器科), 岩男 泰 (慶應大内科), 橋本英樹 (帝京大衛生公衆衛生), 福原俊一 (京都大社会健康医学系理論疫学)

(2) 潰瘍性大腸炎手術例のQOL：SF36を用いた経時的変化

- 杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター), 橋本秀樹 (帝京大衛生公衆衛生), 岩男 泰 (慶應大内科), 福島恒男 (横浜市立市民病院外科)

14. プロジェクト研究 (11:00～11:40)

「CDにおける食事脂肪の影響をみる研究を完遂する」

責任者：馬場忠雄

(1) IBD患者の食事調査にみる脂肪摂取とくにn-6/n-3比について

- 戸田信晴 (大腸肛門病センター高野病院栄養科), 守田則一 (同 消化器内科), 高野正博 (同 外科)

(2) IBD患者の7日間摂取食事調査にみる繊維摂取について

- 守田則一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科), 豊田裕輝子, 戸田信晴 (同 栄養科), 高野正博 (同 外科)

(3) 潰瘍性大腸炎に合併した深部静脈血栓症と肺塞栓症の治療

- 牧山和也, ○磯本 一 (長崎大光学医療診療部), 大迫由紀, 村瀬邦彦, 宮原嘉之 (同 2内)

(4) Crohn病の胃病変－*H.pylori*の関与について－

- 松井敏幸, 櫻井俊弘, 松村雅人, 八尾恒良 (福岡大筑紫病院消化器科)

IV. 主任研究者挨拶

下山 孝

厚生省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」調査研究班

平成12年度第1回総会出席者名簿

2000年8月24日・25日

(参加152名)(敬称略)

班 長：下山 孝

班 員：馬場忠雄 (滋賀医大2内), 日比紀文 (慶應大内), 棟方昭博 (弘前大1内), 樋渡信夫 (東北大消化器内科), 杉村一仁 (新潟大3内), 味岡洋一 (新潟大1病理), 杉田 昭 (横浜市大市民総合医療センター), 畠山勝義 (新潟大1外), 櫻井俊弘 (福岡大筑紫病院消化器), 牧山和也 (長崎大光学医療診療), 金城福則 (琉球大1内), 松本誉之 (大阪市大3内), 高添正和 (社保中央総合病院内), 福田能啓 (兵庫医大4内), 北洞哲治 (国立大蔵臨床研究), 守田則一 (大腸肛門病センター高野病院), 坪内博仁 (宮崎医大2内), 八木田旭邦 (近畿大腫瘍免疫等研究所), 山村武平 (兵庫医大2外), 佐々木 巖 (東北大1外), 吉岡和彦 (関西医大2外), 中野博重 (奈良医大1外), 亀岡信悟 (東京女子医大2外),

名倉 宏(東北大病理), 岡村 登(東京医科歯科大保健衛生)  
古野 純典(九州大社会医学講座予防医学)

他班よりの研究協力者:

名川 弘一(東京大腫瘍外)

評価委員: 柳内 登(国立療養所晴嵐荘病院), 粉川 皓仲(国立京都病院),  
渡邊 英伸(新潟大1病理)

厚生省: 金谷 泰宏

他: 後藤 啓, 有村 佳昭(札幌医大1内), 坂牧 純夫(札幌医大4内),  
石黒 陽, 桜庭 裕文, 阪本 十一, 三上 達也(弘前大1内),  
澤田 俊夫, 茂木 健太, 鮫島 伸一(群馬県立がんセンター),  
千葉 満郎(秋田大1内), 根来 健一, 高橋 成一(東北大消化器内科),  
舟山 裕士, 北山 卓, 福島 浩平(東北大生体調節外科),  
有廣 誠二, 大谷 明夫(東北大病理形態), 大塚 幸夫, 菅家 一成(獨協医大消化器内科),  
太田 慎一, 藤盛 健二(埼玉医大3内), 鈴木 康夫, 吉村 直樹(千葉大2内),  
篠崎 大, 石神 浩徳, 渡辺 聡明(東京大腫瘍外),  
渡辺 守, 金井 隆典(東京医科歯科大内科), 板橋 道朗(東京女子医大2外),  
飯塚 文瑛, 中村 哲夫(東京女子医大消化器), 岡村 孝(都立大塚病院),  
千田 俊雄, 馬場 千恵美(東京医科歯科大学保健衛生),  
岩男 泰, 長沼 誠, 佐藤 俊朗, 矢島 知治(慶應大内),  
田中 寅雄(社保中央総合病院内科), 帯刀 誠(国立小児病院研究センター),  
福島 恒男, 星 加奈子, 小金井 一隆(横浜市市民病院外科),  
須田 武保, 飯合 恒夫, 野上 仁(新潟大1外),  
朝倉 均, 本間 照(新潟大3内), 北村 和哉(金沢大1内),  
岩本 真也, 品川 和子(富山医科薬科大3内), 馬場 正三(浜松医大),  
中村 利夫(浜松医大2外), 楠 神和男(名古屋大1内),  
藤井 久男, 小山 文一, 杉森 志穂(奈良医大1外),  
辻川 知之, 畑 和憲, 安藤 朗, 五月女 隆男(滋賀医大2内),  
北野 厚生(大阪市立住吉市民病院), 押谷 伸英, 中村 志郎(大阪市大3内),  
助川 寧(近畿大学腫瘍免疫等研究所), 北内 信太郎(和歌山医大2内),  
岡田 裕之, 河野 博行(岡山大1内), 天野 国幹(広島クリニック),  
西村 拓, 松井 敏幸(福岡大筑紫病院消化器),  
山本章二朗, 宮田 義史, 田原 良博, 井戸 章雄(宮崎医大2内),  
磯本 一(長崎大光学医療診療部), 戸田 信晴(大腸肛門病センター高野病院),  
砂川 隆, 州鎌理知子(琉球大1内),  
浦野 敬治(日本抗体研究所), 後藤 紀峰(呉羽化学), 高橋 良樹(わかもと製薬),  
福井 正憲(協和メデックス), 藤井 克典, 稲場 昭喜(日清キョーリン),  
長谷川 明郎, 栗山 敏治, 牛山 秀彦, 鎮目 泰正, 山脇 直邦, 川口 広, 酒巻 善春  
(旭メディカル), 増淵 聡, 伊坂 公男, 長井 和佳子, 麻野 修(田辺製薬),  
小林 秀行, 清水 光男(日本ケミカルリサーチ), 村田 正弘, 江島 智子(味の素),  
前田 渉, 澤田 和英, 梅澤 努, 後藤 英之, 石澤 祐介(味の素ファルマ),  
荘 司康嗣(兵庫医大2外), 阪本 尚正(兵庫医大衛生),  
指尾 宏子(兵庫医大遺伝学),  
里見 匡迪, 田村 和民, 澤田 康史, 近野 真嗣, 松村 徹也, 金田 真弥, 堀 和敏,  
(兵庫医大4内),

事務局: 宮本 佳美, 長瀬 和子, 國井 智子, 田村 裕子

厚生科学研究費補助金特定疾患対策研究事業  
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究班」  
「炎症性腸疾患に対する白血球除去・  
吸着療法に関する多施設共同研究」

平成12年度第2回総会プログラム

(敬称略)

平成13年1月16日(火)

開会(09:00)

I. 主任研究者挨拶・研究の進め方 下山 孝

II. 厚生省保健医療局エイズ疾病対策課挨拶 麦谷真里

III. 研究報告

1. 炎症性腸疾患に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究(09:20~10:50)

「白血球除去療法の重点研究を完遂する」

責任者：下山 孝

(1) 白血球除去・吸着療法を施行した大腸型クローン病の1例

○ 福田晋作, 三上達也, 山形 克, 石黒 陽, 棟方昭博(弘前大1内)

(2) 白血球除去・吸着療法を試みたクローン病の1例

金城福則, ○久貝雪野, 平田哲生, 豊見山良作, 斎藤 厚(琉球大1内),  
小川由英(琉球大血液浄化療法部)

(3) 栄養療法に抵抗するクローン病に対する白血球除去療法を施行した1例

松本誉之, ○澤 禎徳, 中村志郎, 押谷伸英(大阪市大3内), 北野厚生(住吉市民病院)

(4) 白血球除去療法(LCAP)を施行したクローン病の1例

○西尾雄司, 島田昌明, 今田 朗, 伊奈研次, 楠神和男(名古屋大1内)

(5) クローン病に対する白血球除去療法—当施設経験症例について

飯塚文瑛, ○塚田百合子, 福田祥子, 中村哲夫, 林 直諒(東京女子医大消化器内科)

(6) Crohn病に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究

下山 孝, ○近野真嗣, 澤田康史, 里見匡迪, 福田能啓(兵庫医大4内), 朝倉 均(新潟大3内),  
飯塚文瑛(東京女子医大消化器内科), 金城福則(琉球大1内), 櫻井俊弘(福岡大筑紫病院消化器内科),  
高添正和(社保中央総合病院内科), 戸澤辰雄(兵庫医大中央臨床検査部),  
名川弘一(東京大腫瘍外科), 西上隆之(兵庫医大2病理), 馬場忠雄(滋賀医大2内),  
日比紀文(慶應大内科), 樋渡信夫(東北大消化器内科), 福島恒男(横浜市立市民病院外科),  
藤原研司, 太田慎一(埼玉医大3内), 牧山和也(長崎大光学医療診療部),  
松本誉之(大阪市大3内), 棟方昭博(弘前大1内), 北洞哲治(国立大蔵病院臨床研究部),  
鈴木康夫(千葉大2内), 楠神和男(名古屋大1内), 高後 裕(旭川大3内)

(7) ステロイド不応性潰瘍性大腸炎に対する, フィルター法及び遠心法による白血球除去療法の効果

○本間 照, 杉村一仁, 大塚和朗, 小林正明, 朝倉 均(新潟大3内)

(8) 潰瘍性大腸炎に対する白血球除去・吸着療法に関する多施設共同研究

下山 孝, ○澤田康史, 里見匡迪, 福田能啓, 近野真嗣(兵庫医大4内), 朝倉 均(新潟大3内), 飯塚文瑛(東京女子医大消化器内科), 金城福則(琉球大1内), 櫻井俊弘(福岡大筑紫病院消化器内科), 高添正和(社保中央総合病院内科), 戸澤辰雄(兵庫医大中央臨床検査部), 名川弘一(東京大腫瘍外科), 西上隆之(兵庫医大2病理), 馬場忠雄(滋賀医大2内), 日比紀文(慶應大内科), 樋渡信夫(東北大消化器内科), 福島恒男(横浜市立市民病院外科), 藤原研司, 太田慎一(埼玉医大3内), 牧山和也(長崎大光学医療診療部), 松本誉之(大阪市大3内), 棟方昭博(弘前大1内), 北洞哲治(国立大蔵病院臨床研究部), 鈴木康夫(千葉大2内), 楠神和男(名古屋大1内), 高後 裕(旭川大3内)

#### コーヒーブレイク (10:40~10:50)

#### 2. プロジェクト研究 (10:50~11:20)

「UCとCD患者のQOLを治療法による影響も含めて検討する」

責任者：櫻井俊弘

##### (1) Crohn病患者的のQOL—日本語版IBDQを用いた検討—第2報—

○ 櫻井俊弘, 松井敏幸, 八尾恒良(福岡大筑紫病院消化器科), 岩男 泰(慶應大内科), 橋本英樹(帝京大衛生公衆衛生学)

##### (2) 炎症性腸疾患におけるQOL研究—QOL基礎研究班から—

○ 岩男 泰, 長沼 誠, 緒方晴彦, 日比紀文(慶應大内科), 杉田 昭(横浜市大総合医療センター・難病医療センター) 櫻井俊弘(福岡大筑紫病院消化器科), 橋本英樹(帝京大衛生公衆衛生), 福原俊一(京都大社会健康医学系理論疫学)

##### (3) IBD患者におけるストーマ造設前後のQOL—大腸癌患者との比較検討—

○ 吉岡和彦, 岡崎 智, 中野雅貴, 米倉康博, 今田世紀, 岩本慈能, 吉田 良, 高田秀穂, 日置紘士郎(関西医大2外)

#### 3. プロジェクト研究 (11:20~12:00)

「UC患者の痛とdysplasiaを基準に癌surveillanceを確立する」

責任者：名倉 宏

##### (1) 潰瘍性大腸炎の疫学的研究—癌合併検討—

○ 北洞哲治(国立大蔵病院臨床研究部, 同 消化器科), 横山巽子, 宇都宮利善, 今場清子, 小野ひろみ(同 臨床研究部), 林 篤, 田代博一, 大原 信(同 消化器科)

##### (2) 潰瘍性大腸炎の癌化とdysplasia症例の検討

中野博重, ○中尾 武, 藤井久男, 小山文一, 杉森志穂, 山内昌哉(奈良県立医大1外)

##### (3) 潰瘍性大腸炎に合併した大腸癌症例の検討

○ 牧野洋知, 小金井一隆, 武田和永, 橋本邦夫, 高橋正純, 鬼頭文彦, 福島恒男(横浜市立市民病院外科)

##### (4) この1年間にsurveillance colonoscopyで発見したColitic Cancerの2例

○ 飯塚文瑛, 福田祥子, 本間直子, 林 直諒(東京女子医大消化器内科), 鈴木 茂(同 消化器内視鏡), 高崎 健(同 消化器外科), 亀岡信悟, 板橋道朗(同 2外), 藤森孝博(獨協医大2病理)

#### 幹事会・昼食 (12:00~13:00)

#### 4. プロジェクト研究 (13:00~13:20)

「UCとCDのデータベースを拡張・充実する」

責任者：名川弘一

(1) IBD個人調査票の入力作業

- 名川弘一 (東京大腫瘍外科), 里見匡迪, 下山 孝 (兵庫医大4内)

(2) 既存資料に基づくIBD受給患者数予測の試み

- 守田則一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科)

5. プロジェクト研究 (13:20~13:40)

「CD患者の食事の実態を調査する」

責任者: 古野純典

(1) IBDと食物要因の患者対照研究

- 古野純典

(2) 潰瘍性大腸炎外来患者の摂取食事の実態と食事指導の問題

- 守田則一 (大腸肛門病センター高野病院消化器内科), 高野正博, 黒水丈次 (同 外科),  
○ 石川行美, 太田紀子, 居倉真紀 (福岡高野病院栄養科)

6. プロジェクト研究 (13:40~14:50)

「腸内細菌の病因論的検討を行う」

責任者: 下山 孝

(1) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜細菌叢

- 岡村 登, 千田俊雄, 馬場千恵美 (東京医科歯科大医保健衛生), 岡村 孝 (都立大塚病院外科),  
松村徹也, 下山 孝 (兵庫医大4内)

(2) 炎症性腸疾患患者における*H.pylori*感染率の検討

- 金城福則, ○ 仲本 学, 金城 渚, 仲地紀哉, 州鎌理知子, 砂川 隆, 内間庸文, 座覇 修,  
齋藤 厚 (琉球大1内)

(3) 精製Hsp60投与による自己反応性とマウス大腸病理像の細菌分子種による差異: *Yersinia enterocolitica* Hsp60, *Helicobacter pylori* Hsp60, *Escherichia coli* GroELの比較

- 八木田旭邦, ○ 助川 寧, 丸山正三, 若杉慎司 (近畿大腫瘍免疫等研究所),  
山口博之, 神谷 茂 (杏林大感染症学)

(4) 腸内細菌通常化マウスを用いた炎症時の上皮細胞遺伝子発現パターンの変化

- 北山 卓, 内藤広郎, 舟山裕士, 福島浩平, 柴田 近, 上野達也, 金 学林, 西條文人,  
佐々木 巖 (東北大生体調節外科)

(5) *Mycobacteria*由来糖脂質を用いた新たな実験的肉芽腫性腸炎モデル

- 松本誉之, ○ 十河光栄, 金田研司, 川島大知, 山上博一, 澤 禎徳, 中村志郎,  
押谷伸英 (大阪市大3内), 小林和夫 (同 細菌学), 矢野郁也 (日本BCG研), 山田珠樹 (名古屋市大1内)

(6) クロウン病における真菌の関与

- 千葉満郎, 飯塚政弘, 渡辺純夫 (秋田大1内), 高添正和 (社保中央総合病院内科),  
福島恒男 (横浜市立市民病院外科)

(7) IBDにおけるムンプスウイルスの関与について

- 飯塚政弘, 湯川道弘, 白坂知之, 千葉満郎, 渡辺純夫 (秋田大1内), 福島恒男 (横浜市立市民病院外科),  
齋藤博之 (秋田県衛生科学研究所)

コーヒーブレイク (14:50~15:00)

7. プロジェクト研究 (15:00~15:40)

「UCとCDの遺伝子異常をより広い範囲で検討する」

責任者: 田村和朗



- (1) 炎症性腸疾患に関わるサイトカイン遺伝子の解析
  - 田村和朗(兵庫医大先端医学研究所家族性腫瘍部門), 指尾宏子, 古山順一(同 遺伝学)
- (2) 第6, 第19染色体短腕におけるIBD疾患感受性候補遺伝子探求
  - 杉村一仁, 松澤 純, 杉谷鈴子, 朝倉 均(新潟大3内), 太田正穂(信州大法医), 猪子英俊(東海大分子生命)
- (3) 潰瘍性大腸炎患者の大腸粘膜におけるマイクロサテライトの不安定性について
  - 樋渡信夫, 小島康弘, 高橋成一, 木内喜孝, 下瀬川 徹(東北大消化器内科)
- (4) 炎症性腸疾患患者での6-MPの副作用とTPMT遺伝子多型との関連性
  - 長沼 誠, 井上 詠, 小池祐司, 松岡克善, 船越信介, 江崎俊彦, 中野 雅, 岩男 泰, 日比紀文(慶應大内科), 渡辺 守(東京医科歯科大学消化・代謝内科学)

#### 8. プロジェクト研究 (15:40~16:10)

「潰瘍性大腸炎の新診断基準, 重症認定基準をつくる」

責任者: 棟方昭博

- (1) 潰瘍性大腸炎症例におけるステロイド骨症
  - 楊 鴻生(兵庫医大整形外科), 荘司康嗣, 池内浩基, 山村武平(同2外)
- (2) 潰瘍性大腸炎の重症例の治療(サイクロスポリンの位置付け)
  - 棟方昭博(弘前大1内)
- (3) 11歳の潰瘍性大腸炎患者の虫垂切除後の経過
  - 牧山和也, 磯本 一(長崎大光学医療診療部), 黒崎伸子(同1外)

#### 9. プロジェクト研究 (16:10~16:20)

「クローン病の新診断基準, 重症認定基準をつくる」

責任者: 樋渡信夫

- (1) クローン病診断基準, 治療指針の改訂
  - 樋渡信夫(東北大消化器内科)

#### 10. プロジェクト研究 (16:20~17:00)

「UC難治例の大腸切除の適応を定める」

責任者: 名川弘一

- (1) クローン病上部消化管病変の外科治療
  - 板橋道朗, 小川真平, 作田奈美, 亀岡信悟(東京女子医大2外), 飯塚文瑛(同 消化器内科)
- (2) クローン病瘻孔症例の検討
  - 山村武平, ○池内浩基, 荘司康嗣(兵庫医大2外)
- (3) Crohn病に合併した肛門病変の病態と治療法
  - 杉田 昭(横浜市大市民総合医療センター・難病医療センター) 山崎安信, 木村英明, 嶋山 紘(横浜市大2外), 小金井一隆, 福島恒男(横浜市民病院外科)
- (4) Crohn病に合併した直腸(肛門)瘻の外科治療
  - 上野達也, 内藤広郎, 舟山裕士, 福島浩平, 柴田 近, 金 学林, 北山 卓, 西條文人, 佐々木 巖(東北大生体調節外科)

事務局連絡 (17:00~17:10)

懇親会 (17:30~)

平成12年1月17日(水)

### III. 研究発表(続)

#### 11. プロジェクト研究(9:00~10:00)

「新治療法を開発する」

責任者: 下山 孝

- (1) デキストラン硫酸誘発大腸炎に対する肝細胞増殖因子の治療効果に関する検討  
坪内博仁, ○田原良博, 井戸章雄, 宮田義史, 山本章二郎(宮崎医大2内)
- (2) 潰瘍性大腸炎における免疫抑制療法  
有村佳昭, 後藤 啓, 今井浩三(札幌医大1内)
- (3) TNBS大腸モデルを用いたTh1阻害剤TAK-603の大腸炎抑制効果の検討  
○坂牧純夫, 藤田朋紀, 新津洋司郎(札幌医大4内)
- (4) 潰瘍性大腸炎に対するプロピオン酸バクロメタゾン注腸療法の成績(第2報)  
○茂木健太, 秋谷寿一(群馬県立がんセンター消化器内科), 武井芳樹, 鮫島伸一, 澤田俊夫(同 消化器外科)
- (5) 潰瘍性大腸炎に対する新治療法—XILEISAN—  
○天野國幹, 天野幹三, 久米健介, 中村恭平(広島クリニック)
- (6) クロウン病患者に対するキトサン・アスコルビン酸複合体経口投与の意義  
馬場忠雄, ○辻川知之, 五月女隆男, 新谷 寛, 安藤 朗, 藤山佳秀(滋賀医大2内),  
金内 理(キリンビール㈱機能食品事業部)

#### コーヒーブレイク(10:00~10:10)

#### 12. プロジェクト研究(10:10~11:40)

「UCとCDにおける免疫異常を検索する」

責任者: 日比紀文

- (1) IBDの特異的病態形成における病変部局所の増殖リンパ球の意義  
松本蒼之, ○神野良男, 中村志郎, 澤 禎徳, 原 順一, 押谷伸英(大阪市大3内),  
北野厚生(住吉市民病院), 大谷明夫, 名倉 宏(東北大病理)
- (2) クロウン病局所におけるCD161<sup>+</sup>T(NKT)細胞について  
○飯合恒夫, 須山武保, 岡本春彦, 畠山勝義(新潟大1外), 安保 徹(同 医動物)
- (3) 炎症性腸疾患におけるICOS-B7hの関与  
○佐藤俊朗, 新井 潤, 一松 取, 高木英恵, 岡沢 啓, 緒方晴彦, 岩男 泰, 日比紀文(慶應大内科),  
金井隆典, 渡辺 守(東京医科歯科大医消化・代謝内科)
- (4) IBD T細胞におけるアポトーシス抵抗性の機序—Bcl2, Bcl-X, Bax発現の検討—  
○伊東重豪, 棟方昭博, 石黒 陽, 山形和史, 金澤 洋(弘前大1内)
- (5) Th1慢性大腸炎モデルにおけるTNF/TNFR関連分子の関与  
○金井隆典, 戸塚輝治, 石井賢一, 山崎元美, 渡辺 守(東京医科歯科大医消化・代謝内科)
- (6) CD4<sup>+</sup>CD45RB<sup>high</sup>T細胞移入大腸炎モデルにおけるTNFレセプターp55の役割について  
○北村和哉(金沢大1内, 同 がん研究所腫瘍分子科学研究部門), 中本安成, 金子周一, 小林健一(同 1内),  
向田直史(同 がん研究所腫瘍分子科学研究部門)
- (7) DSS腸炎におけるTGF- $\beta$ 1の役割  
○櫻庭裕丈, 石黒 陽, 山形和史, 棟方昭博(弘前大1内), 仲根明夫(同 細菌学)
- (8) 炎症性腸疾患とCCケモカインレセプターについて(第1報)  
○大谷明夫, 名倉 宏(東北大病理), 沖 元二(同 病理, 同 3内)

- (9) クロウン病に於ける腸管粘膜透過性亢進の検討—PIXE法による動物モデル基礎検討  
○ 鈴木康夫, 中尾圭太郎, 齋藤 康 (千葉大2内)

IV. 主任研究者挨拶

下山 孝

評価小委員会 (13:00~14:00)

# 厚生省特定疾患「難治性炎症性腸管障害」調査研究班

## 平成12年度第2回総会出席者名簿

2001年1月16日・17日

(参加186名)(敬称略)

班 長：下山 孝

班 員：馬場 忠雄(滋賀医大2内), 日比 紀文(慶應大内), 棟方 昭博(弘前大1内),  
樋渡 信夫(東北大消化器内科), 杉村 一仁(新潟大3内), 味岡 洋一(新潟大1病理),  
杉田 昭(横浜市大市民総合医療センター), 畠山 勝義(新潟大1外),  
櫻井 俊弘(福岡大筑紫病院消化器), 牧山 和也(長崎大光学医療診療),  
金城 福則(琉球大1内), 松本 誉之(大阪市大3内),  
高添 正和(社保中央総合病院内), 福田 能啓(兵庫医大4内),  
北洞 哲治(国立大蔵臨床研究), 守田 則一(大腸肛門病センター高野病院),  
坪内 博仁(宮崎医大2内), 八木田 旭邦(近畿大腫瘍免疫等研究所),  
山村 武平(兵庫医大2外), 佐々木 巖(東北大1外), 名倉 宏(東北大病理),  
吉岡 和彦(関西医大2外), 亀岡 信悟(東京女子医大2外),  
岡村 登(東京医科歯科大保健衛生), 古野 純典(九州大社会医学講座予防医学)

特別研究員：田村 和朗(兵庫医大先端医学研究所)

他班よりの研究協力者：

向田 直史(金沢大がん研究所), 名川 弘一(東京大腫瘍外)

評価委員：柳内 登(国立療養所晴嵐荘病院), 粉川 皓伸(国立京都病院),  
渡邊 英伸(新潟大1病理), 武藤 徹一郎(癌研究会附属病院)

厚生労働省：金谷 泰宏

他：有村 佳昭(札幌医大1内), 坂牧 純夫(札幌医大4内),  
蘆田 知史, 高後 裕(旭川医大3内), 石黒 陽, 桜庭 裕文, 阪本 十一,  
福田 真作, 伊東 豪重, 山形 和史, 吉池 雅美(弘前大1内),  
澤田 俊夫, 茂木 健太(群馬県立がんセンター),  
千葉 満郎, 飯塚 政弘(秋田大1内), 正田 良介(国立国際医療センター),  
有廣 誠二, 大谷 明夫, 太田 達郎, 安藤 紀昭(東北大病理形態), 舟山 裕士,  
福島 浩平, 北山 卓, 上野 達也, 小島 康弘, 米澤 仁志(東北大生体調節外科),  
高橋 成一(東北大消化器病態), 太田 慎一(埼玉医大3内),  
鈴木 康夫, 吉村 直樹(千葉大2内), 片平 洸彦(東京医科歯科大難治疾患),  
渡辺 守, 金井 隆典, 山崎 元美(東京医科歯科大内科),  
篠崎 大, 石神 浩徳, 畑 啓介, 生田 圭子(東京大腫瘍外科),  
千田 俊雄, 馬場 千恵美(東京医科歯科大学保健衛生),  
飯塚 文瑛, 福田 祥子, 塚田 百合子(東京女子医大消化器),  
板橋 道朗(東京女子医大2外), 岡村 孝(都立大塚病院外科),  
岩男 泰, 長沼 誠, 佐藤 俊朗, 田村 徳康, 緒方 晴彦, 井上 詠(慶應大内),  
田中 寅雄(社保中央総合病院内科), 福島 恒男, 牧野 洋知(横浜市民病院外科),  
小嶋 裕一郎(山梨医大1内), 須田 武保, 飯合 恒夫, 亀山 仁史(新潟大1外),  
朝倉 均, 本間 照(新潟大3内), 北村 和哉(金沢大1内),  
馬場 正三(浜松医大), 中村 利夫(浜松医大2外),  
花井 洋行(浜松大光学医療診療部), 前川 厚子(名古屋大地域在宅看護),  
楠神 和男, 島田 昌明(名古屋大1内),  
藤井 久男, 小山 文一, 中尾 武, 西沼 亮(奈良医大1外),